

## 第3回エコプロアワード 受賞事例発表

[トップ](#) > [セミナー・イベント](#) > [エコプロ・エコプロアワード](#) > [第3回エコプロアワード 受賞事例発表](#)

### 第3回エコプロアワード 受賞事例発表

エコプロアワードは、日本市場において事業者・消費者・投資家、さらには市場関係者から評価が高く、具体的に優れた環境配慮が組み込まれた製品・サービス・技術・ソリューション・ビジネスモデルといった案件を表彰することによって、これらのさらなる開発・普及促進を図り、持続可能な社会づくりに寄与することを目的として2018年に設立された表彰制度です。第3回目となる今回は47件の応募があり、選考委員会（委員長：香坂 玲 名古屋大学大学院教授）と審査委員会（委員長：梅田靖 東京大学大学院教授）における厳正なる審査の結果、以下の18件を選出しました。

最も優れた表彰候補5件が、財務大臣賞、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞に、また、大臣賞に次いで優れた表彰候補5件がエコプロアワード優秀賞に、さらに、審査委員会が推薦する8件を奨励賞に決定しました。

今回応募案件は、ESG、SDGsの機運の高まりを受け、製品やサービスを通して企業・団体の組織全体の活動の推進が伺える案件が増加しました。受賞案件では資源循環、サーキュラーエコノミー等のキーワードを軸にした取り組みが多くありました。また、伝統文化や地域、人のつながりといった、環境だけにとどまらないサステナビリティに関する多面的な要素を持つ案件が高く評価されたのも特徴として挙げられます。

#### 優秀賞

(主催者賞)

文化伝承型サーキュラーエコノミー賞

#### 日本リユースシステム株式会社

「伝統(着物や帯)×伝統(民族衣装)=進化(進化系民族衣装)」によるサステナブルでアップサイクルな「お針子事業」



日本の伝統文化の代表とされる着物や帯は、とても高品質に作られており、約100年もの間、何世代にもわたって何度も使い続けることができる設計になっています。

そのような作りに加え、日本人は特に正絹の着物をなかなか捨てられないこともあり、日本の各家庭には推定7億着、価値にして約40兆円もの膨大な量の着物や帯が眠っているとされています。

しかし、ライフスタイルの変化と共に「着る機会がない」、「保管が大変」といった様々な理由で、また「終活」や「遺品整理」といったお片づけ意識の高まりにより、これらの着物や帯は寿命を全うすることなく、引き取り手のいない「不要」なものとして大量に廃棄されているのが現状です。

これらの貴重な着物や帯を、「生地」としての新たな価値を生み出すことで捨てずに活かし、たくさんのソーシャルグッドに繋げ、SDGsのゴール達成に貢献する取り組みが「お針子事業」です。